

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	救急活動事業			410204	担当課	消防署警防課	
	開始年度	昭和23年(1948)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	澤田 晴彦		
	歳出費目	款) 消防費	項) 消防費	目) 常備消防費	決算附属資料	208	頁	
	施策の大綱	消防・救急体制の強化			関連計画等	-		
	施策名	消防・救急・救助の体制を充実させる			根拠法令等	-		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	消防組織法第1条に基づき、傷病者の搬送を適切に行うことを目的として、必要な資器材の整備を行うとともに、救急救命士の資質向上、メディカルコントロール体制の更なる充実・高度化を図り、救急現場活動の質を向上させる。また、大規模災害や集団救急事故における地域医療機関との適切な役割分担と連携を強化する。						
	対象者	市民	対象者数	78,935	一人当たりコスト	0.78		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等>						
	事業概要	■救急現場活動で使用する物品などの整備を図り、市民の救命率の向上を図る。 ■京都府中丹医療圏における救急医療体制の充実と連携強化を図る。 ■大規模災害や集団救急事故における地域医療機関との適切な役割分担と連携に努める。						
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		需用費・備品		救急現場で使用する物品等、救急訓練人形、AED			6,678	
委託料・負担金		救急車積載器具定期点検、医療廃棄物処理業務委託等			2,817			
役務費		酸素ボンベ耐圧検査、救急毛布洗濯、賠償責任保険料			366			
報償費		救急救命士病院研修			169			
旅費・使用料及び賃借料		救急管外搬送、各種研修、駐車料金			168			
関連事業								
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		6,922	10,462	8,568		
		補正予算等・・・②		404	46	0		
		繰越し等・・・③		0	0	0		
	財源内訳	一般財源		3,065	6,252	4,429		
		国支出金		0	0	0		
		府支出金		0	0	0		
		地方債		0	0	0		
		その他特財		4,261	4,256	4,139		
		特定財源名称(H29実績)	高速自動車道支弁金			4,140	諸収入	42 頁
	職員人件費		従事職員数(正職/嘱託)	5.22/0	6.39/0	6.39./0	/	
		概算人件費・・・④	41,760	51,120	51,120			
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			49,086	61,628	59,688			
執行状況	執行額・・・⑥		7,291	10,198				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		99.5%	97.0%				
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		救命率	%	2.5/5.0	9.7/5.0	/5.0	5.0	
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		救急出動	件	3611	3699	/		
			単位あたりコスト	2.0	2.8			
		救急搬送人員	人	3276	3382	/		
	単位あたりコスト	2.2	3.0					

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	市民の生命に直接関係する事業で、法律により実施が義務付けられている事業である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	救急出動に必要な装備品を整備維持するとともに、救急救命士の資質向上、メディカルコントロール体制の更なる充実・高度化を図ることが、市民の救命率の向上に有効である。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	更なる救命率・社会復帰率の向上を図るため、一刻も早い119番通報、現場に居合わせた人によるAEDを使用した除細動を含めた適切な応急手当、救急隊員による救命処置、医療機関での二次救命処置など、救命の連鎖を築いていくことが必要不可欠である。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	適切な活動を行うための資器材の整備、配置については概ね良いといえるが、救急出動の増加に伴う頻回使用や特定行為の処置拡大による消耗品の購入や、修理等、経費が増加傾向にある。	
	今後の課題及び方向性	救急出動は今後も増加していくことが国の予測からも明らかとなっている。特に、高齢化率の高い本市においては、その傾向も強いものとなることが予測される。そのような中で、救急活動においては資器材の頻回使用に伴う故障等も増加している。また、救急業務の高度化に伴い、救急救命士の処置拡大で侵襲的な処置も増えていることから、これに対応するための予算が必要である。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予算の限りがある中で、計画的かつ確かな資器材の整備を進めること ・ランニングコストや必要性、稼働、効果等を総合的に勘案して備品の導入を図ること ・必要な経費であるので不足することがないように予算要望をして下さい 		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p>		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
		予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	浸水救助資機材整備事業			550208	担当課	消防本部消防課			
	開始年度	平成27(2015)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	川口 富生				
	歳出費目	款) 消防費	項) 消防費	目) 常備消防費	決算附属資料	210	頁			
	施策の大綱	消防・救急体制の強化			関連計画等	-				
	施策名	消防・救急・救助の体制を充実させる			根拠法令等	消防組織法、水防法				
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()								
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	内水氾濫時などに使用する救助資機材等を整備し、救助体制を強化することにより、市民の尊い生命を水害から守る。								
	対象者	福知山市民	対象者数	78,935	一人当たりコスト	0.01				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等>								
	事業概要	救助資機材を整備する。 救助活動時に使用する安全装備品を整備する。 土のうの保管庫を整備する。								
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容				H29経費		
		備品購入費		北分署敷地内に土のう保管庫を整備				219		
関連事業										
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求			
	事業費	当初予算・・・①		0	220	0				
		補正予算等・・・②		0	0	0				
		繰越し等・・・③		0	0	0				
	財源内訳	一般財源		0	220	0				
		国支出金		0	0	0				
		府支出金		0	0	0				
		地方債		0	0	0				
		その他特財		0	0	0				
		特定財源名称 (H29実績)					頁			
							頁			
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.05/0	0.07/0	0.07/0	/			
概算人件費・・・④		400	560	560						
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			400	780	560					
執行状況	執行額・・・⑥		0	219						
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		-	99.5%						
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標			
		浸水救助資機材の整備率	%	51 / 51	52 / 52	/ 52	100%			
		浸水救助活動時の支障解消率	%	100 / 100	100 / 100	/ 100	100%			
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標			
		浸水救助資機材を活用した訓練回数	回	16 / 12	13 / 12	/ 12	年間12回			
		単位あたりコスト		-	16.8					
単位あたりコスト		/	/	/						
単位あたりコスト		0.0	0.0							

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・市民の生命を守るため、救助資機材や安全装備品の更新整備を行い、浸水救助資機材の整備率を高めることは重要である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・点検などにより救助資機材や安全装備品の更新整備の必要性を把握し、コスト面の検討も含めた効率的・計画的な整備を行うことで、消防力の強化に万全を期す。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・計画的な資機材更新により、救助資機材の整備率や救助活動時の支障解消率を高めることで、浸水時の救出活動の強化を図ることを目的として成果目標を定めている。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	浸水救助資機材の整備率や浸水救助活動時の支障解消率が、当初目標を達成できていることは評価できる。浸水救助資機材の更新整備を計画的に実施するとともに、訓練により資機材の取り扱いの習熟度を向上させる。	
	今後の課題及び方向性	市民の生命を守るため、救助資機材や安全装備品の更新整備を行い、救助資機材の整備率や浸水救助活動時の支障解消率を高めることは重要である。平成26年度から調査・研究を重ねているエアポートは、内水氾濫への対応はもちろんのこと、内外水の氾濫により孤立した地域への災害対応、由良川水系での水難事故にも対応可能な資機材であると位置づけており、今後も継続して調査・研究を行い、由良川水系の内外水の氾濫による孤立地域の解消を図る。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エアポートについては、財源の確保を検討して、調査・研究を継続されたい。導入を考えておられるなら、財源の確保を検討して。 ・救助資機材の更新計画を適切に立てていただきたい。 ・エアポート購入の必要性を「今後の課題及び方向性」に記述いただきたい。 ・成果実績「浸水救助活動時の支障発生件数」を「浸水救助活動時の支障解消率」に変更するよう検討いただきたい。 ・資機材の購入によるハード面での整備に留まらず、日常点検や資機材を使用した訓練の実施によりソフト面での取組みも行われており、有効な事業実施が行われている。 ・人命救助の視点を最優先に他市の事例も参考にしつつ本市に適した資機材の維持管理、必要に応じた補充をしていく必要がある。 		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p>		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<p style="text-align: center;">方針区分</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止/休止</p> <p><input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替</p> <p><input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し</p> <p><input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し</p> <p><input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し</p> <p><input type="checkbox"/> 事業の見直しなし</p>	<p style="text-align: center;">内 容</p>	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<p>予算額の反映状況(対H30)</p> <p><input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替</p> <p><input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充</p>	<p>担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】</p>	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	消防水利整備事業			550216	担当課	消防本部消防課			
	開始年度	昭和23(1948)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	川口 富生				
	歳出費目	款) 消防費	項) 消防費	目) 消防施設費	決算附属資料	214	頁			
	施策の大綱	消防・救急体制の強化			関連計画等	-				
	施策名	消防・救急・救助の体制を充実させる			根拠法令等	消防組織法				
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()								
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	消防水利を適正に配置して消防水利の充実を図り、火災発生時の迅速な消火体制を確立することで、火災による被害の軽減を図る。 また、無蓋防火水槽周辺の安全確保を図るため、転落防止用のフェンスを改修する。								
	対象者	福知山市民	対象者数	78,935	一人当たりコスト	0.38				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 公益社団法人福知山市シルバー人材センター								
	事業概要	耐震性防火水槽および消火栓を新設する。 老朽化した防火水槽および消火栓を修繕する。 無蓋防火水槽の安全確保を図るため、転落防止用のフェンスを改修する。								
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容				H29経費		
		工事請負費		土、三和町台頭地内に2基新設				15,183		
工事請負費		転落防止用のフェンスを15か所改修				7,816				
需用費		防火水槽標識購入、消火栓緊急修繕ほか				332				
委託料		土遺跡発掘調査にかかる現地作業委託契約ほか				828				
使用料および賃借料、役務費、賃金		使用料および賃借料90、役務費7、賃金15				112				
関連事業										
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求			
	事業費	当初予算・・・①		28,820	26,670	28,640				
		補正予算等・・・②		8,334	0	0				
		繰越し等・・・③		0	0	0				
	財源内訳	一般財源		14,961	8,870	7,740				
		国支出金		2,693	0	0				
		府支出金		0	0	0				
		地方債		19,500	17,800	20,900				
		その他特財		0	0	0				
		特定財源名称 (H29実績)	緊急防災・減災事業債			15,800	市債	50	頁	
			防災対策事業債			5,800	市債	50	頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.59/0	0.44/0	0.44/0				
		概算人件費・・・④		4,720	3,520	3,520				
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			41,874	30,190	32,160					
執行状況	執行額・・・⑥			37,124	24,271					
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)			99.9%	91.0%					
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標			
		消火活動時の支障解消率	%	100 / 100	100 / 100	/ 100	100%			
		消防水利の充足率	%	83 / 83	83 / 83	/ 83	100%			
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標			
		消防水利整備数	基	19 / 23	18 / 28	/ 26	年間20基			
		単位あたりコスト		1,953.9	1,348.4					
			/	/	/					
	単位あたりコスト		0.0	0.0						

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・火災による被害の軽減を図るため、消防水利の充足率を高めることは重要である。 ・都市計画法により、開発者が一部消防水利を設置している。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・点検などにより消防水利の不良を把握し、コスト面の検討も含めた効率的・計画的な改修を行うことで、地域の消火体制に万全を期す。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・消防水利の充足率や消火活動時の支障解消率を高めることで、迅速な消火体制を確立することを目的として成果目標を定めている。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	消防水利の充足率や消火活動時の支障解消率が、当初目標を達成できていることは評価できる。消防水利の適正な維持管理を行い、消防水利の長寿命化を推進するとともに、コスト削減に向けて工法などの調査研究を実施する。	
	今後の課題及び方向性	火災による被害の軽減を図るため、防火水槽などの整備を行い、消防水利の充足率や消火活動時の支障解消率を高めることは重要である。消防水利の適正な維持管理を行うことで、消防水利の長寿命化を図るとともに、コスト削減に向けて工法などの調査研究を実施する必要がある。国庫補助金など活用可能な財源の確保について調査・研究する。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所見 ・国庫補助金、起債など有利な財源を活用しながら消防水利整備を進めていただきたい。 ・消防水利の定期点検を行い、適切な時期に適切な対処がなされており、設備の長寿命化が図られている。また、計画的に消防水利数を増やし充実が図られている。 ・市民の安全を守るため、また危険が及ばないようにするため、今後も適切な点検と修繕を行い、優先順位を明確にして実施されたい。		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内容	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
		予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	消防通信指令システム管理事業			550228	担当課	通信指令課		
	開始年度	平成10年(1998)	終了予定年度	平成32年(2020)	作成責任者	土永 辰彦			
	歳出費目	款) 消防費	項) 消防費	目) 常備消防費	決算附属資料	210	頁		
	施策の大綱	消防・救急体制の強化			関連計画等	-			
	施策名	消防・救急・救助の体制を充実させる			根拠法令等	消防組織法			
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()							
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	119番通報から災害発生場所及び災害内容を迅速・的確に把握し、被害を最小限度に抑える為に、指令管制業務の研修や通信指令システム(消防指令システム、消防救急デジタル無線等)の機能維持を図り、災害対応の初動に万全を期すことを目的とする。							
	対象者	市民、旅行者、消防職団員	対象者数	79,000	一人当たりコスト	1.37			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 (株)富士通ゼネラル (株)ドーン 大槻ポンプ工業(株)							
	事業概要	指令業務実務研修や指令システム及び消防救急デジタル無線等の機能維持のための保守点検並びに修繕等を実施する。							
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費		
		委託料		指令システム点検(6,372)、無線点検(1,598)			7,970		
役務費		119回線等使用料(5,350)、発信位置情報用(1,332)			7,069				
需用費		基地局電気代(455)通信指令S修繕料(3,507)消耗品(111)			4,073				
使用料及び貸借料		NET119システム(1,296)			1,300				
負担金補助及び交付金、旅費		負担金補助及び交付金(244)、旅費(97)			341				
関連事業									
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算・・・①		19,726	23,031	18,460			
		補正予算等・・・②		437	△ 1,888	0			
		繰越し等・・・③		0	0	0			
	財源内訳	一般財源		20,163	21,143	18,460			
		国支出金		0	0	0			
		府支出金		0	0	0			
		地方債		0	0	0			
		その他特財		0	0	0			
		特定財源名称 (H29実績)					頁 頁		
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		10.66/0	10.93/0	10.93/0	/		
概算人件費・・・④		85,280	87,440	87,440					
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			105,443	108,583	105,900				
執行状況	執行額・・・⑥		20,163	20,753					
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		100.0%	98.2%					
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		指令管制業務の不具合	回	0/0	0/0	/0	0		
		機器の不具合	回	0/0	0/0	/0	0		
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		119番通報対応件数	回	5753/7000	6257/7000	/7000	/7000		
		単位あたりコスト		3.5	3.3				
単位あたりコスト									

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	119通報受信から出動、災害情報の伝達等指令管制業務は、災害対応の初動となるため、24時間365日正常な稼働及び運用が必要である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	保守点検や修繕が機器導入業者でないと不可能な部分もあり、他社との比較検討ができない状況である。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	保守点検、修繕等により不具合は発生しておらず、正常に稼働し運用ができており、市民の安心・安全が図られている。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	指令システムの保守点検及び無線機器の点検実施により不具合は発生しておらず、指令管制業務は正常に稼働し災害対応等に支障は発生していないが、保守点検、修繕等が機器導入業者でしかできないため、他社との比較検討ができない状況である。	
	今後の課題及び方向性	指令システムのPCソフト(windows7)のサポート期限が、2020年1月に切れる他、PCの部品供給もできなくなるため、2019年中には新しいPCソフトによる指令システムの更新が必須となる。そのためにも平成30年度中に計画を立てる必要がある。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NET119については、(全国的な)利活用の状況や、障がいのある方の生活実態に照らして本当に有効なものかどうかを精査し、要否を判断すること → 別の方策を考えるべきではないか ・システムの広域共通化などを通して、費用の中長期的な抑えこみを図ること ・登録の呼びかけは積極的にしていただいたらよいが、見直し、廃止を前提に期限をきって行われたい 		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p>		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<p style="text-align: center;">方針区分</p>	<p style="text-align: center;">内 容</p>	
	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし			
	予算への反映 【財政担当課記入】	<p style="text-align: center;">予算額の反映状況(対H30)</p> <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	<p style="text-align: center;">担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】</p>	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	消防庁舎改修事業			550248	担当課	消防本部消防課			
	開始年度	昭和56(1981)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	川口 富生				
	歳出費目	款) 消防費	項) 消防費	目) 消防施設費	決算附属資料	214	頁			
	施策の大綱	消防・救急体制の強化			関連計画等	-				
	施策名	消防・救急・救助の体制を充実させる			根拠法令等	消防組織法				
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()								
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	防災拠点施設である消防庁舎の機能維持を図り、市民の安心安全を確保する。								
	対象者	福知山市民	対象者数	78,935	一人当たりコスト	0.10				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等>								
	事業概要	防災拠点施設である消防庁舎の機能維持のため、老朽化した庁舎や施設を改修する。								
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容				H29経費		
		工事請負費		東分署屋上看板撤去・防水工事・危険物庫改修				2,943		
関連事業										
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求			
	事業費	当初予算・・・①		7,200	7,900	7,894				
		補正予算等・・・②		△ 6,479	△ 4,900	0				
		繰越し等・・・③		0	0	0				
	財源内訳	一般財源		721	3,000	7,894				
		国支出金		0	0	0				
		府支出金		0	0	0				
		地方債		0	0	0				
		その他特財		0	0	0				
		特定財源名称 (H29実績)							頁 頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.22/0	0.64/0	0.64/0	/			
概算人件費・・・④		1,760	5,120	5,120						
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			2,481	8,120	13,014					
執行状況	執行額・・・⑥		721	2,943						
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		100.0%	98.1%						
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標			
		消防庁舎の修繕必要箇所数	箇所	8 / 9	5 / 8	/ 5	0箇所			
		消防庁舎の支障発生日数	日	0 / 365	1 / 365	/ 365	0日			
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標			
		消防庁舎改修工事数(年間)	事業	1 / 2	3 / 5	/ 5	2件			
		単位あたりコスト		721.0	981.0					
			/	/	/					
	単位あたりコスト		0.0	0.0						

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・防災拠点施設である消防庁舎の機能維持を図るため、消防庁舎の修繕必要箇所数を減少させることは必要不可欠である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・点検などにより消防庁舎の不良を把握し、コスト面の検討も含めた効率的・計画的な改修を行うことで、消防庁舎の機能維持に万全を期す。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・消防庁舎の修繕必要箇所数や支障発生日数を減少させることで、防災拠点施設の機能を守り、市民の安心安全を確保することを目的として成果目標を定めている。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	消防庁舎の修繕必要箇所数が、減少していることは評価できる。しかし、消防庁舎の改修工事数については、当初見込を達成できなかったため、工事の発注が不調となった原因を究明し、来年度以降の対応を再検証する必要がある。	
	今後の課題及び方向性	災害発生時の市民の安心安全を確保するため、防災拠点施設である消防庁舎の機能維持は必要不可欠であり、消防庁舎の修繕必要箇所数や支障発生日数を減少させることは重要である。消防庁舎の適正な維持管理を行うことで、消防庁舎の長寿命化を図るとともに、活用可能な財源の確保について調査・研究する。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所見 ・工事の発注については早期に進めて(不調とならないように)いただきたい → 予算が減額とならないように ・必要となる箇所数については記載をして、計画的に進められたい ・成果実績「消防活動時の支障発生件数」を「消防活動時の支障解消率」に変更するよう検討いただきたい。 ・国庫補助金、起債など有利な財源を確保いただきたい。 ・東分署及び北分署は、築年数35年を超えており、防災拠点となる施設を適切に維持管理するうえで、必要な事業である。		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内容	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
		予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	水防センター整備事業			550255	担当課	消防本部消防課		
	開始年度	平成29(2017)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	川口 富生			
	歳出費目	款) 消防費	項) 消防費	目) 消防施設費	決算付属資料		頁		
	施策の大綱	消防・救急体制の強化			関連計画等	-			
	施策名	消防・救急・救助の体制を充実させる			根拠法令等	消防組織法、水防法			
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()							
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	国土交通省が戸田地区に整備を進めている「戸田地区河川防災ステーション」内に、水防活動の核となる水防センターを建築し、市民の安心安全を確保する。							
	対象者	福知山市民	対象者数	78,935	一人当たりコスト	0.00			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等>							
	事業概要	水防センターを整備する。(国土交通省のスケジュール変更により1年順延)							
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項 目		具 体 的 な 内 容			H29経費		
関連事業	水防活動事業(消防本部消防課)								
予算と執行の 状況	区 分			H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算・・・①		0	12,600	9,100			
		補正予算等・・・②		0	△ 12,600	0			
		繰越し等・・・③		0	0	0			
	財源内訳	一般財源		0	0	0			
		国支出金		0	0	0			
		府支出金		0	0	0			
		地方債		0	0	9,100			
		その他特財		0	0	0			
		特定財源名称 (H29実績)						頁	頁
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0/0	0.01/0	0.01/0	/		
概算人件費・・・④		0	80	80					
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			0	80	9,180				
執行状況	執行額・・・⑥		0	0					
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		#DIV/0!	#DIV/0!					
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指 標	単 位	H28	H29	H30	最終目標		
		水防センターの設計業務	件	/	0 / 1	/ 1	1件		
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指 標	単 位	H28	H29	H30	最終目標		
		工事スケジュール調整に伴う国土交通省との協議	回	/	3 / 3	/	年間3回		
		単位あたりコスト		0.0	0.0				
			回	/	/	/			
単位あたりコスト		0.0	0.0						

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・市民の生命・財産を守るため、水防活動拠点を整備し、水防活動の強化を図ることは重要である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・水防活動拠点の整備をすることで、水防活動の強化に万全を期す。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・水防活動拠点の整備の実施により、水防活動の強化を図ることを目的として成果目標を定めている。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	水防センターの整備について当初目標を達成できなかったことは、国土交通省のスケジュール変更によるものであっても評価できない。 水防活動拠点の整備を実施し、水防活動の強化を図る。	
	今後の課題及び方向性	市民の生命・財産を守るため、水防活動拠点を整備し、水防活動の強化を図ることは重要である。 国土交通省のスケジュールを注視し、地元への説明を継続的に行ない、平成32年度中に整備を完了する。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
		<ul style="list-style-type: none"> ・本当にH32末に終わられるのか？ → 国の動き次第というのは理解しているが、時々進捗を確認しつつ、前もっての確認・要請を適宜行うこと ・仮に間に合わない場合の財源について、予め検討を ・単なる資機材の保管場所としてのみならず、訓練や啓発拠点としての性格も考慮し、整備すること 		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	消防活動事業			550285	担当課	消防本部総務課		
	開始年度	昭和23(1948)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	足立 豊			
	歳出費目	款) 消防費	項) 消防費	目) 常備消防費	決算附属資料	212	頁		
	施策の大綱	消防・救急体制の強化			関連計画等	-			
	施策名	消防・救急・救助の体制を充実させる			根拠法令等	消防法・消防組織法			
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()							
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	市民の生命、財産を守るため、火災、救急、救助、その他各種災害等に的確に対応できる消防力の維持強化							
	対象者	全市民	対象者数	78,935	一人当たりコスト	5.35			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等> 大槻ポンプ工業株式会社福知山営業所、株式会社モリタテクノス西日本営業部							
	事業概要	火災や救助、水難などの災害対応の実施 消防業務にかかる各種事務 必要な資機材、装備品の整備 車両の維持管理 職員の活動環境の整備 など							
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費		
		需用費		消防活動用消耗品、車両燃料費、車両修繕、備品修繕			16,626		
		備品購入費		防火衣、チェンソー、空気呼吸器、消火用ホース			6,057		
役務費		車検等点検手数料、自動車損害保険、消防業務賠償責任保険			2,289				
公課費		自動車重量税			538				
委託料他		委託料(507)負担金(334)旅費(329)使用料及び賃借料(23)報償費(2)			1,195				
関連事業									
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算・・・①		61,211	25,516	24,911			
		補正予算等・・・②		726	1,637	0			
		繰越し等・・・③		0	0	0			
	財源内訳	一般財源		61,937	27,153	22,911			
		国支出金		0	0	0			
		府支出金		0	0	0			
		地方債		0	0	0			
		その他特財		0	0	2,000			
		特定財源名称 (H29実績)					頁 頁		
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		51.83/0	49.43/0	49.43/0	/		
概算人件費・・・④		414,640	395,440	395,440					
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			476,577	422,593	420,351				
執行状況	執行額・・・⑥		60,919	26,705					
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		98.4%	98.4%					
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		本事業に起因する活動支障発生回避率	%	100 / 100	100 / 100	/ 100	100		
				/	/	/			
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		出動件数(火災・救急・救助)	件	3,742	3,844	/			
		単位あたりコスト		16.3	6.9				
				/					
	単位あたりコスト								

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	消防業務の推進は市町村の義務であり、適切かつ的確に実施する必要がある
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	常に費用対効果を念頭に、購入する物品等については精査し、調査工夫し、最小限の費用で有効な消防活動が実施できるよう取り組んでいる
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	真に必要な経費を計画的に計上し、適切に執行することで、消防活動の安定的な稼働につなげている
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	適切な予算の執行に加え、職員自らの知識や技能をもとに、高い投資効果を生む努力を重ねており、経費の有効な配分をはかり、より効果的で効率的な消防活動や消防業務を推進している。	
	今後の課題及び方向性	今後も計画的な予算執行のもと、資機材や車両等必要な装備、機材の適切な維持管理を図り、加えて職員の知識や技能を更に向上することにより、その効果や有効性を更に高め、しっかりと消防業務を展開していく。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所見 ・計画的に執行されており、とくにない(ただ、業務に支障をきたすことが生じないように予算要望されたい。) ・成果実績「本事業に起因する活動支障発生件数」を「本事業に起因する活動支障解消率」に変更するよう検討いただきたい。 ・消防資機材の更新等にあたり多額の費用を要するため、国庫補助金、起債など有利な財源の確保に努めていただきたい。 ・消防長会の研修や訓練等の成果については、より多くの職員へ浸透させ消防活動に最大限に活かせるよう努めていただきたい。		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内容	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
		予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	消防団活動事業			550286	担当課	消防本部総務課		
	開始年度	昭和22(1947)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	足立 豊			
	歳出費目	款) 消防費	項) 消防費	目) 非常備消防費	決算附属資料	214	頁		
	施策の大綱	消防・救急体制の強化			関連計画等	-			
	施策名	消防・救急・救助の体制を充実させる			根拠法令等	消防法・消防組織法			
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()							
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	消防団は「地域密着性」「要員動員力」「即時対応力」を持ち、地域防災の要として市民の安心安全のため、大きな役割を果たしていることから、消防団による活動環境をしっかりと整備し、地域の消防力の強化を図る。							
	対象者	消防団員	対象者数	1,855	一人当たりコスト	70.17			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等>							
	事業概要	◆消防団員報酬、災害出動に伴う出動費用弁償の支給 ◆消防団活動資機材、備品購入 ◆消防団車両の維持管理(車検整備、法定点検、燃料費、修繕経費) ◆消防団関係団体分担金の支出、近隣消防団との相互応援							
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費		
		報酬		消防団員報酬、機関手当			51,207		
旅費		消防団員出動費用弁償、実費弁償			22,423				
需用費、備品購入費、交際費		消耗品、車両維持費、消火用ホース等購入、団長交際費			12,173				
役務費、公課費		郵送料、法定点検、保険料、重量税			8,759				
負担金補助及び交付金		消防団関係団体分担金、消防団互助会補助金			1,175				
関連事業	消防団員訓練事業・消防団員報償事業・消防団施設管理事業(消防本部総務課)								
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算・・・①		105,017	100,217	100,730			
		補正予算等・・・②		△ 20	△ 53	0			
		繰越し等・・・③		0	0	0			
	財源内訳	一般財源		103,599	99,071	100,638			
		国支出金		0	0	0			
		府支出金		1,305	0	0			
		地方債		0	0	0			
		その他特財		93	1,093	92			
		特定財源名称(H29実績)	コミュニティ助成事業助成金			1,000	諸収入	46	頁
	消防団福祉共済制度返戻金			229	諸収入	44	頁		
職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		3.39/0.9	3.47/0.9	3.47/0.9				
	概算人件費・・・④		29,370	30,010	30,010				
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			134,367	130,174	130,740				
執行状況	執行額・・・⑥		100,161	95,737					
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		95.4%	95.6%					
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		消防団活動支障事案発生回避率	%	100 / 100	100 / 100	/ 100	100%		
				/	/	/			
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		災害出動件数	件	40	58	/			
		単位あたりコスト		2,504.0	1,650.6				
			/	/					
	単位あたりコスト		0.0	0.0					

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	地域の安心安全のため、消防団は欠くことのできない存在であり、そのための活動を市としてしっかりと維持する必要がある
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	消防団員の更なる活動環境の改善のため、予算等の効率的な配分について更に検討が必要
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	消防団の活動が十分に実施できるため、事業効果を検証し、より効果的な方策を模索する必要がある
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	消防団を取り巻く環境が一段と厳しさを増す中、現況の事業が十分に消防団活動を支えるものとなっているかどうかについては、検証が必要である。	
	今後の課題及び方向性	団員確保が困難な上、消防団の活動内容はますます多岐に渡り、団員の負担は増している。また資機材等の整備についても、老朽化がすすみ更新に係る経費についても課題となっている。社会環境や活動環境の変化に伴い様々な課題を抱える消防団の活動をしっかりと支えるために、消防団全分団への聞き取り調査を実施し、消防団活動の現況をしっかりと調査把握した上で、事業のあり方について再考が必要。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見 ・条例定数が同規模自治体よりも多い。団員数の適正数を再検証する必要がある。 ・特定の団員に負担が偏らないように気をつける必要がある。 ・アウトカムの再検討、有効性、効率性を判断できる指標が必要。 (判定人意見) ・災害出動が多く団員負担が増加しているのであれば、地域住民との連携が必要であり、連携により団員負担が軽減できるのではないか。 ・団員が減少傾向の中、「地域の消防力の強化」を図るために人数減少への対策も必要ではないか。 ・月1回の会合では、消防署と地元幹部メンバーで本音が出ないので、新入団員との意見交換も開催すること。		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		